

(公) 社団法人日本技術士会栃木県支部発足全体会合 開催報告概要

日時；平成 24 年 5 月 12 日（土） 15:00～16:30

場所：宇都宮ポートホテル

主催：公益社団法人日本技術士会 栃木県支部

1、はじめに

本年3月、日本技術士会に於いて栃木県技術士会から提案申請されていた栃木県支部の設立が認められて以来、今回県内技術士による（公）社団法人日本技術士会栃木県支部発足の全体会合が開催されましたので概要を報告する。出席技術士は58名でした。

2、議事次第

総務委員長 黒須重富司会の開会宣言で始まり下記式次第により議事進行がなされた。

1) 挨拶および支部発足の経緯と運営方針について

支部長 菅井俊郎から、本部での関東8県技術士会長の勉強会から始まり本部が公益社団法人に移行した経緯、従来まであった栃木県技術士会が解散して本部直轄の組織となった経緯の説明があり、今後の方針は「地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋」となり、地域の活性化に貢献してゆくむねの力強い挨拶があった。



写真1 菅井支部長

2) 支部組織説明

副支部長 柳瀬宣義により支部組織の説明があり、新たに国際委員会をつくったこと、地域社会貢献委員会を設け、その中に「地域企業、地域、環境の各3小委員会」を置いたのが特徴であると説明した。

3) 日本技術士会規則と支部関連規則について

総務副委員長 金子間司から資料に基づき紹介があり、本部の改組に伴い日本技術士会の会則が変更となりました。それらの要点とそれに関連する栃木県支部の規則の主な変更点になった部分の報告があった。

4) 栃木県支部平成 24 年度事業計画について

副支部長 小黒幸市から資料に基づき平成 24 年度の事業計画の概要紹介があり、続いて各委員会委員長から担当部門の説明がありました。会員はいつれかの委員会に所属して、活動していただきたいむね、ご案内があり、具体的には「月刊誌技術士」7月号にアンケート用紙が入っていますので希望を記入し返信下さいとのことです。

5) 平成 24 収支計画について

総務副委員長 佐藤勝俊から収支計画の説明があり、詳細については本部での承認待ちである。現在の計画段階で収入については厳しいことが予想される。実行段階では収入増支出減をさらに検討する必要がある。

6) 栃木県支部設立功労者表彰

今回の支部設立に当たり特に功労のあった3名の方々に支部長から感謝状と粗品が贈呈されました。

田中 喜一郎、吉田 修、佐倉 等

の方々です。

なお、この方々を代表して田中喜一郎前会長からお礼のおことばがありました。

3、おわりに

司会者から閉会宣言があり、出席者皆様の協力により時間どおり無事に終了しました。



写真2 全体会合の様子

(文責 柳瀬宣義)